

国土交通省の熊本河川国道事務所は、その名の通り河川と国道に関わる職場です。具体的には一級水系の白川と緑川、国道の3号、57号、208号、九州中央自動車道の改修・整備・管理を通して、熊本の郷土づくりに貢献しています。

このうち道路管理の仕事は、常に自然の猛威と隣り合わせ。所長だった私は、直轄国道約300キロの通行を維持するため、非常時には橋やトンネルを含む道路施設の緊急点検を実施し、支障があれば速やかに復旧させる責任を負っていました。

とりわけ着任して間もない2

016年は、事務所が大車輪の働きを求められた年でした。1

元国土交通省熊本河川国道事務所長



森田 康夫

## 自然の猛威の中で

仕事をこなしてくれました。

2年半の勤務で、最も神経をすり減らしたのが冬期の交通確保。立ち往生車両による事故や渋滞が発生すれば、道路交通は一瞬にして大混乱になります。熊本地震で国道57号が通行止めになる中、迂回路ミルクロードの雪氷対策は、全職員を挙げた体制で事前準備と降雪時のオペレーションを昼夜問わず遂行する最重要ミッションでした。

県内建設関係企業の全面的な協力を得ながら、無事に任務を終えて桜の季節を迎えた時、肩の荷が下りるのを実感したものでした。厳しい局面の多かった熊本勤務ですが、この機会をいただいたことに感謝しています。

一筆  
ku